



「赤心」 校長室だより

No.1 6/5(金)

文責 田中 敏子

学校の周辺は緑が美しく輝いています。校長室から見た子どもたちの姿や学校の様子、地域を歩いて感じたことなどをお伝えしたいと思い、「校長室だより」を発行します。ご意見やご感想をいただくと大変ありがたく思います。よろしくお願いいたします。



今、この一瞬に思いを込めて 勝利をめざせ！

安茂里小学校の校庭運動会は6月に行われます。今年度は6月6日(土)。

一学期に行われる運動会は、私にとっては初めての経験。

入学して2ヶ月の1年生は、大丈夫なのだろうか…。

これは、1年生に対して失礼で余計な心配でした。

整列・行進・ラジオ体操・大玉送り・全校ダンスなど、初めての種目で

覚えることばかりで大変だったと思いますが、一生懸命練習して、お兄さん

お姉さんたちと一緒に行動できるようになりました。ラジオ体操では、

基準列としての難しい動きもしっかりでき、子どもたちの力はやはり

すごいなあと感心させられました。

小学校最後の運動会になる6年生は、1～5年生のお手本となるべく努力しています。



運動会当日、校庭に飾る鯉をつくる余裕さえできた1年生

○ 自分の持っている **力を出し切る**こと

○ 仲間と **心を合わせる**こと

○ 今日の自分が一番良かったと言えるよう

気持ちを込めること

全校の子どもたちが、出場する種目と係活動のど

ちらも力を抜かず、手を抜かず、頑張っている姿を

たくさん見てきました。

120周年記念の校庭運動会です。

子どもたち一人一人の思いが身体全体、そして動き

の一つ一つに表れる「素晴らしい運動会」になることを期待しています。

挨拶の輪を広げよう！



児童会が中心となって、4月からあいさつ運動が行われています。昇降口には、

「挨拶されたら・・・おはようございます。教室に入る前に。10人以上に挨拶しよう」という目標が掲げられています。

6月に入り、青少年育成安茂里地区会議が進める「あいさつ運動」が始まり、あちらこちらに“のぼり”が立てられ地域全体で運動を進めているんだなあと感じます。

この機会に、明るい挨拶を交わし合い、地域の方たちとの関わりも広がり深まることを願っています。

〈校長講話〉

全校の皆さん、おはようございます。

三百五十人を超す皆さんが元気よく挨拶をしてくれました。とてもすがすがしい挨拶で、今日も一日、皆さんと一緒に楽しく過ごせるという思いで嬉しくなりました。

この頃、私は嬉しいことがたくさんあります。その一つが皆さんの挨拶なのです。朝の廊下で「おはようございます。」の声。会う人みんなが、気持ちのよい挨拶をしてくれます。休み時間には、「こんにちは。」と声をかけてくれる人もいます。私は、安茂里小の先生で外の人ではありませんから、高学年の人たちは、「こんにちは。」とは言わずに、会釈をしてくれる人が多いように感じます。

その時、私は、思わずにこっとしてしまいますが、それは目と目が合うからなのです。不思議ですね。目が合うと、とても親しみが

わいてきます。

それから、他にも挨拶のことで嬉しかったことがあります。

安茂里小にはお客様がたくさん見えます。お客様と廊下で話をしていたときに、通りかかった六年生でしょうか、高学年の人が

「こんにちは。」と挨拶をしてくれたのです。笑顔で、とても気持ちのよい言い方だったので、お客様も「こんにちは。」と、にこにこして嬉しそうでした。安茂里小に来てよかったと感じたのではないのでしょうか。

たった一言で、相手を幸せな気持ちにさせることができるもの、それが挨拶なのです。安茂里小が、「明るい挨拶」「目を合わせた会釈」でいっぱいになるとすばらしいなあと思います。

四月二十二日

学校を離れても 挨拶の輪が広がっていくともっとすばらしいと思います。地域の皆さんは、安茂里小の子どもたちを見守ってください。



あすげんきかおみ
明日も元気な顔を見せてね。

せんせいねが
先生たちの願いです。



げんきあんずこ
元気な杏っ子たち。



こうちようしつせい
校長室の生花

ありがとうございます。

あもりしょうがつかう こうちようしつ
安茂里小の学校HPにも、校長室のコーナーを設けさせていただきました。